

キャリア教育 I

10月7日(木) 体育科2年生は探究活動の一環として、講師にプロサーブ代表取締役の能勢康史先生をお呼びし、キャリア教育を行いました。能勢先生は、野球選手の活動環境向上のために必要な「野球に関わるプロの育成(人財)」と「野球現場と医療のネットワークづくり(社会環境)」を目標に活動を展開され、1992年から現在までに関わったチームの中から、現在メジャーリーガーの菊池雄星、大谷翔平をはじめとするプロ野球選手60名以上(ドラフト1位7名)を輩出されています。世界で活躍しているアスリートたちの高校時代の取り組みを紹介して頂き、第1回目はキャリアデザインの土台となる部分のご指導を頂きました。



「何のために、部活に取り組んでいるのか」「何のために進路を決め、仕事に就くのか」「人生で1番時間を使うのは」などの問いから講義は始まりました。人生と勝負の共通点をみんなで考え、人生と勝負で避けては通れないものの「解」を出し合い、終わってから後悔しない取り組み(人生の選択)をしようという機運が高まりました。

次回の講義(11月4日)で最終回になります。具体的な内容(キャリアデザイン)に入り、『自分とは何かを知る、強みを活かす』というテーマについて考えてくることになっています。

能勢先生は、子どもたちに向けて「いま、ここ、自分」を大事にすることを熱く丁寧に伝えます。未来を共に切り拓いていこうというメッセージです。そのためには、自分をよく知ること。競技ばかりではだめ、競技は人生の一つのパーツと考えること。登校してくるときに、目標を決めて登校してくるように。競技をやっていないときにしっかりと考える。練習は無くなってやりきる。制服を着ているときに、物事をしっかりと考えられる選手が試合に強くなり、人生に強くなれると教えてくれました。

今日の講義もそうでしたが、能勢先生は子どもたちにはとにかく丁寧に優しい。私たち指導者には物凄く厳しい。なぜ厳しいのかはわかっていますが、そのギャップについていけない時が……。お忙しいところ、ご指導頂きありがとうございました。

